

多様なニーズに対する対応について

1 公立保育所に求められる役割

小金井市保育検討協議会（以下「検討協議会」という。）から公立保育所に求められる役割として、行政機関としての役割、地域子育て支援の拠点としての役割及び保育施設の拠点としての役割の3件が示され、これらの役割を遂行していくことは重要であると指摘を受けた。

2 多様なニーズに対する対応

市として、検討協議会からの下記の指摘を受け、公立保育所に求められている役割を積極的に果たしていく必要がある。

指摘された事項	検討事項
障がい児保育の拡大	定員及び年齢制限を撤廃する。
アレルギーのある児童に対する対応	現行どおり積極的に対応し、市内保育事業者等の支援（情報提供、研修、看護師、栄養士等による支援）を実施する。
要保護児童・要支援家庭に対する対応	庁内・庁外の関係機関との連携を強化し、要保護児童・要支援家庭を積極的に支援する。
休日保育の実施	休日保育（日曜日、祝日）を実施する。
延長保育の更なる延長	延長保育時間を午後8時まで延長する。
民間保育所等に対する対応	市内保育事業者等に対する支援、研修等を実施し、すべての保育施設との連携に取り組む。
一時預かり保育（緊急も含む。）の拡大	私的利用、緊急一時預かりの充実等を図る。